

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表 （令和5年度）

1. 認定の日付

令和4年7月22日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社リンガーハット
リンガーハットジャパン株式会社
浜勝株式会社

3. 認定事業適応計画の実施期間

令和4年8月から令和8年2月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

本計画では、非接触・非対面方式でリンガーハットブランドの冷凍商品を24時間いつでも購入できる冷凍商品自動販売機を全国に展開することにより、中食事業の拡大へ新たな事業展開を起こしたいとしている。

◎株式会社リンガーハット

令和5年度（2023年度）においては、直営店舗の冷凍商品自動販売機での販売状況が芳しくなかったため、フランチャイズ店舗への冷凍商品自動販売機の設置予定163台に対しゼロとなった。

◎リンガーハットジャパン株式会社

令和5年度（2023年度）においては、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行して以降、冷凍商品自動販売機1台あたりの売上高が減少傾向となった。設置台数拡大を一旦ストップし、立地や販売商品の見直し等、1台あたりの売上高を向上させることに集中したため、設置予定台数145台に対し実績44台となった。

◎浜勝株式会社

令和5年度（2023年度）においては、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行して以降、冷凍商品自動販売機1台あたりの売上高が減少傾向となった。ちゃんぽん関連商品だけでなく、とんかつ関連の商品開発を進めてきたが、売上高を向上させることに集中したため、設置予定台数20台に対し実績1台となった。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

◎株式会社リンガーハット

生産性の向上に関する数値目標であるROAにおいて、基準年度（令和3年度）▲0.3%、令和4年度▲0.6%、令和5年度目標値2.0%に対し、令和5年度実績2.1%となった。

令和5年度（2023年度）においては、当初計画から上回る結果となった。これは2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類移行したことにより、業績の回復が顕著となったためである。

◎リンガーハットジャパン株式会社

生産性の向上に関する数値目標であるROAにおいて、基準年度（令和3年度）▲78.8%、令和4年度▲24.9%、令和5年度目標値23.5%に対し、令和5年度実績6.9%となった。

令和5年度（2023年度）においては、当初計画から下回る結果となった。これは原材料価格やエネルギー価格及び人件費の高騰による影響が大きかったためである。

◎浜勝株式会社

生産性の向上に関する数値目標であるROAにおいて、基準年度（令和3年度）▲25.7%、令和4年度1.0%、令和5年度目標値10.8%に対し、令和5年度実績4.4%となった。

令和5年度（2023年度）においては、当初計画から下回る結果となった。これは原材料価格やエネルギー価格及び人件費の高騰による影響が大きかったためである。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

◎株式会社リンガーハット

有利子負債／CFが1.6倍、経常収支比率が112.0%となった。

◎リンガーハットジャパン株式会社

有利子負債／CFが5.7倍、経常収支比率が101.5%となった。

◎浜勝株式会社

有利子負債／CFが3.6倍、経常収支比率が101.3%となった。

(4) 実施した事業適応計画の内容

◎株式会社リンガーハット

令和5年度（2023年度）においては、計画244百万円に対して、投資実績はゼロであった。これは新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、自動販売機での販売を強化し、1台あたりの売上を向上させるまでは新規投資を見合わせたことによるものである。

◎リンガーハットジャパン株式会社

令和5年度（2023年度）においては、計画217百万円に対して、自己資金により66百万円の投資を実行した。

◎浜勝株式会社

令和5年度（2023年度）においては、計画30百万円に対して、自己資金により1.5百万の投資を実行した。